THEシガパークビジョン（素案）　概要版

資料-4

背　景

滋賀県では、自然環境の保全、防災、レクリエーション等を目的とした都市公園、条例に基づく公園等を設置するとともに、自然公園が県土面積の37%において指定され、コロナ禍で身近なオープンスペースの価値を再認識し、滋賀の公園全体の魅力向上を図る取組を行っている。

目　的

庁内で積み重ねてきた検討を基に、ＴＨＥシガパークビジョン検討委員会における議論、県民や公園の利用者などのご意見を反映し、目指す姿や基本理念、取組方針を定め、THEシガパークの実現に向けて多様な主体が緩やかにつながり、連携・協働していくための共通のみちしるべとすることを目的とする。

第Ⅰ編　THEシガパークビジョン

１章　THEシガパークビジョンの概要

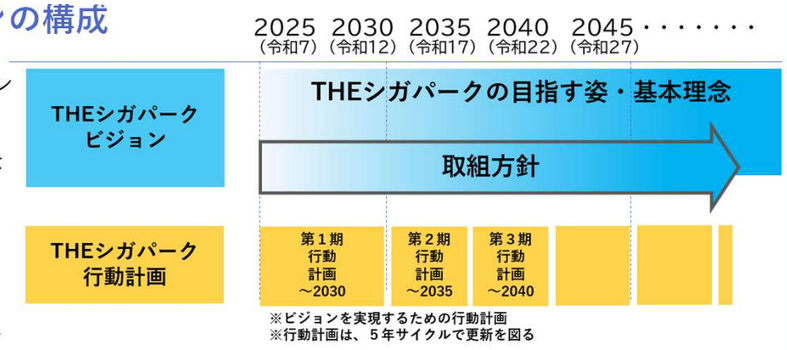
THEシガパークとは

琵琶湖を中心として、滋賀県全体が水と緑、そして人々の活動でつながり一つの大きな公園となった姿

THEシガパークビジョンの構成

第Ⅰ編 THEシガパークビジョン
- 時代を超えた公園の将来の目指す姿や基本理念
- 20～30年後に次の世代に引き継ぐための取組方針

第Ⅱ編 行動計画
- THEシガパークビジョンを実現するための行動計画

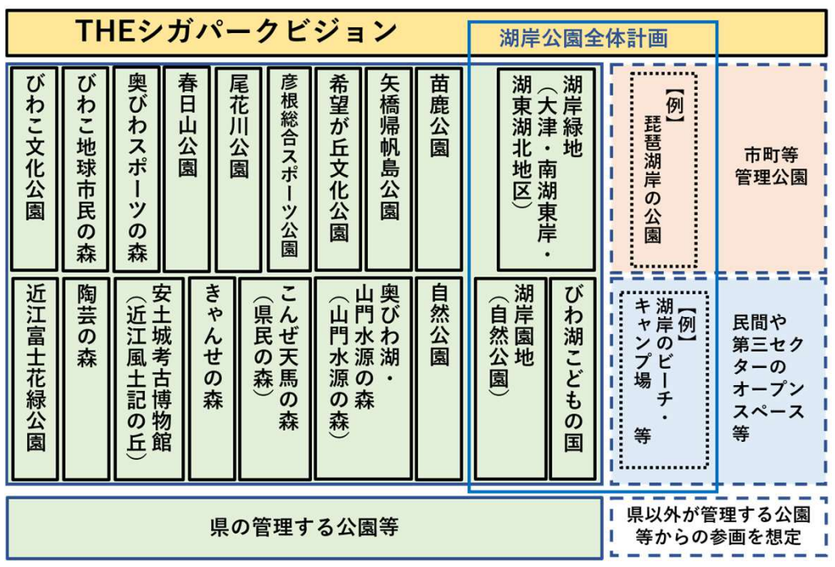


※必要に応じて１０年に１回程度見直し、行動計画は５年に１回策定していく

THEシガパークビジョンの位置付け

■関連計画など
- 滋賀県基本構想、人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀総合戦略滋賀総合戦略を上位計画として策定
- みどりとみずべの将来ビジョン、緑の広域計画等の関連計画と相互に連携

■取組対象範囲
- 県が管理する公園を中心に、順次追加
- 市町の公園や、民間・地域が管理する多様な緑の空間との連携を想定



２章　公園への期待と課題

現在の公園をとりまく課題

- コロナ禍を経たニューノーマル社会への対応
- 地球環境問題
- 社会構造の変化による孤独・孤立、コミュニティ衰退への対応
- 市民・事業者の意識変化
- 人口減少・少子高齢化社会への対応等

公園の更なる魅力向上に向けた課題

- 時代の変化に合わせた魅力ある公園
- 利用者の視点に配慮した公園づくり
- 公園の価値を高める持続可能な施設マネジメント
- 公園への交通アクセス
- 造園技術者の確保と新たな管理体制の構築
- 気候変動に伴う夏の利用環境と安全性の確保
- 自然環境の保全と利用のバランス

滋賀県の公園利用者等の公園に対する思いや期待、公園の利用実態や公園へのニーズを把握するため、令和7年（2025年）に県内外の約2,400人を対象に、Webアンケート等により調査を実施した。

利用者等の公園に対する思い・期待

＜思い＞
- 滋賀の公園の魅力は、「散歩や散策ができる」「風景がきれい」という意見が多い（48%）
- 公園での思い出は、ライフステージごとに積み重なり、人生を豊かにしている
- 公園は自由な空間として、多様な人や利用を受け入れ、出会う場となっている

＜期待＞
- 県内利用者は「日常の延長としての利便性や快適性」、県外利用者は「非日常としての体験」を求める傾向
- 「売店・飲食、駐車場、トイレ、日陰」といった基本的な施設の充実を求めている
- 子どもたちは、“滑り台やブランコなどの遊具やアスレチック、楽しめる・遊べるイベント”などを求めている







第Ⅰ編　THEシガパークビジョン

3章　THEシガパークの目指す姿

琵琶湖を中心に、人の暮らしと心、自然が健やかになる“THEシガパーク”

4章　基本理念と取組方針

基本理念：県内の公園どうしが互いにつながり、人、自然、地域コミュニティをつないで、三方が健やかになる公園を次世代に継承する

県全体を大きな公園ととらえ、THEシガパークを構成する公園が持つ、憩い、スポーツ、文化、歴史、レクリエーション等の機能や特徴に応じた役割・機能を果たすことを目指す。これにより全体として「一つの大きな公園」となる姿を目指し、シビックプライドを醸成するとともに、県民共有の宝として次世代へ継承する。

目指す姿を実現するために

公園の課題、公園に対する思い・期待

- **自然環境の保全、公園の適正利用や美化に関する期待と課題**
- **多様な利用者への配慮や自然との共生等に関する期待と課題**
- **交流やコミュニティ形成に関する期待と課題**

取組方針

3つの視点

【美】うつくシガパーク

美しい自然や景観の保全をはじめ、トイレなどの公園施設の美しさ、利用者の美しい利用マナーなど、「美しい公園」への取組を推進

【優】やさシガパーク

誰もが利用しやすくなると共に、鳥や虫などの動物や草花など、全ての生きものを含めた自然環境も大切にする、「優しい公園」への取組を推進

【楽】たのシガパーク

ふらっと訪れただけで気持ちが楽になり、THEシガパークでしか見られないもの、体験できないことが充実していて、楽しい時間を過ごすことができる、「楽しい公園」への取組を推進

スリーアップの取組

レベルアップ＜機能強化と利便性向上＞

- 魅力事業（魅力を伸ばす施設整備・公園再整備）
- ベース事業（快適に過ごせるための施設整備、防災機能の強化、公園DX・利便性向上）　等

タイアップ＜共創＞

- ボランティア・地域コミュニティ活動
- 公民連携、寄附（PPP/PFI、連携したタイアップイベント実施など）
- 市町の公園・民間との連携（イベントや広報）　等

チームアップ＜連携＞

- 一体的広報・イベント連携（共通サインなど）
- 市町との連携（情報や技術の共有、維持管理運営の共同実施導入検討）　等

・造園技術者の確保と新たな管理体制の構築

造園技術者の確保と新たな管理体制の構築については、公園管理者が常に取り組んでいくべき重要課題と位置付け、社会や技術の変化に対応し、柔軟かつ継続的に対応し上記の取組を下支えする。

5章　THEシガパークの実現に向けて

市町・民間・地域コミュニティ等との連携

・趣旨に賛同し、参画・連携が可能な公園等は、THEシガパークを構成する公園へ含め、共創による取組（みんなでつくるTHEシガパーク）に深化



THEシガパークを構成する個別公園の魅力向上

・各公園に共通の取組や、公園特性に応じた取組を進め、各公園の役割・機能を最大限に発揮し、県全体が1つの大きな公園となる姿を目指す

・各公園管理者が公園の役割や特徴を踏まえて、THEシガパークビジョンに基づき、必要に応じて計画等を策定・改訂し、魅力向上を図る

THEシガパークビジョン

目指す姿
基本理念
取組方針

THEシガパークを構成する各公園の計画等

- 滋賀県営都市公園マネジメント基本方針
- 公園別将来ビジョン
- 滋賀県営都市公園管理運営実施計画
- 公園活性化方針
- 公園施設長寿命化計画

第Ⅱ編　第１期行動計画2030

１章　行動計画の概要

THEシガパークビジョンを実現するための行動計画を5か年毎に策定する。
第１期の対象期間は、2026年～2030年とする。

２章　2030年の目標

利用者が快適に過ごせるための施設整備に取り組む。中でも、トイレ、駐車場、看板を「おもてなし施設」と位置付け、これらの整備を重点的に進める。
また、ボランティアや地域コミュニティ活動のほか、公民連携など共創の取組を進めることとし、2030年の目標を以下に定める。

総合指標

・THEシガパークの認知度向上と公園利用者数の増加
A アンケートによる認知度：50%（2025年時点：15%）
B 年間利用者数：　万人（※今後記入）

個別指標

【レベルアップ】
・利用者が快適に過ごせるための施設整備
①デザインコードの策定　②トイレ整備：43箇所
③フラッグシップトイレの整備：1箇所　④駐車場整備：12箇所
⑤看板整備：51箇所
・それぞれの公園が特徴と魅力を伸ばすための施設整備
⑥2箇所（希望が丘文化公園、奥びわスポーツの森）

【タイアップ】
・民間事業者、地域コミュニティ等との連携・協力体制の構築
⑦THEシガパークパートナー制度の活用：10件

【チームアップ】
・市町の公園との連携
⑧THEシガパークを構成する公園数の増加：5箇所
⑨市町の公園と連携したイベントの開催：10件

３章　実施内容とロードマップ

第1期行動計画では、レベルアップ、タイアップ、チームアップの取組をベースに項目を定め、順応的な見直しをしながら進める。
（造園技術者の確保や新たな管理体制の構築については、常に取り組むべき重要課題と位置づけ、柔軟かつ継続的に対応）
2030年までのスケジュールをロードマップで示す。

NO	実施場所	取組	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2030時点の見込み
レベルアップ								**※抜粋**
2	湖岸緑地	■利用者の快適性の向上（草津市） ・THEシガパークを象徴するような「行ってみたくなる」魅力あるトイレ(フラッグシップトイレ)の整備						完了
5	湖岸緑地・自然公園等	■公園DX ・駐車場へのWEBカメラの設置 ・駐車状況の配信						継続
12	彦根総合スポーツ公園	■新たな施設整備 ・運動施設（庭球場）の整備						完了
14	希望が丘文化公園	■利用者の快適性の向上 ・園内５か所の屋外トイレの改修、園内看板の更新 ・芝生ランドの芝生再整備						完了
15		■官民連携による整備、管理運営 ・PFI方式による整備、管理運営の実施						継続
17	矢橋帰帆島公園	■利用者の快適性の向上 ・園内９か所の屋外、屋内トイレの改修						完了
18		■利用者の快適性の向上 ・老朽化した大駐車場の改修						完了
25	THEシガパークを構成する公園	■利用者の快適性の向上 ・統一的なデザインの方向性（デザインコード）によるトイレ、駐車場、看板の整備						継続
タイアップ								**※抜粋**
9	THEシガパークを構成する公園	■官民連携による整備、運営の工夫 ・滋賀応援寄附、企業版ふるさと納税、クラウドファンディング、ネーミングライツパートナーによる収入確保						継続
10		■魅力向上に向けた官民連携 ・THEシガパークパートナーの登録						継続
11	湖岸の公園	■魅力向上に向けた官民連携 ・湖岸公園全体計画の策定 ・湖岸公園全体計画に基づく民間活用に向けた検討						継続
チームアップ								**※抜粋**
1	陶芸の森	■県市連携による魅力発信 ・甲賀市と連携した情報発信						継続
4	奥びわ湖・山門水源の森	■市町との連携 ・長浜市と連携した維持管理、イベントの開催						継続
5	THEシガパークを構成する公園	■ビワイチ施策での活用 ・サイクリストのおもてなしスポットの設置（期間限定） ・自転車試乗体験会の実施 ・県の観光資源と公園等を繋ぐ周遊コンテンツの実施等						継続

【参考】THEシガパークビジョンに見られる滋賀らしい公園づくり

- 日本初の国定公園である琵琶湖国定公園をはじめ、滋賀県の県土面積の約37%が自然公園に指定される豊かな自然環境を活かした公園づくり。
- 琵琶湖周辺に、湖岸緑地や自然公園園地などがあり、これらの公園がネットワークでつながることで、水と緑、そして人々の活動が結ばれ、一つの大きな公園を目指すこと。
- 近江商人の「三方よし」の精神に象徴される持続可能な考え方により、人、自然、地域コミュニティの三方が健やかになる公園を次世代へ継承すること。